

平成 21 年 度

安城市の教育

安城市教育委員会

~~~~~

平成21年10月発行                      150部

平成21年度

## 安 城 市 の 教 育

編集・発行    安城市教育委員会  
〒 446-8501  
安城市桜町18番23号  
電話 (0566) 76-1111 (代)  
FAX (0566) 77-0001

~~~~~

古紙を含んだ再生紙を使用しています。

安 城 市 民 憲 章

(昭和47年制定)

わたくしたちは安城市民です。
わたくしたちの愛する安城を、いっそう魅力にみちた
生きがいのあるまちにするため、市民生活の心がまえとして、
この憲章を定めます。

わたくしたちは、

- *たがいに助け合い、住みよいまちをつくりましょう。
- *きまりを守り、良い習慣を育てましょう。
- *自然を愛し、きれいな水とみどりのまちをつくりましょう。
- *教養を高め、若い力を育てましょう。
- *健康で、明るく楽しい家庭をつくりましょう。

青少年をすこやかにはぐくむ都市宣言

(昭和57年6月8日)
議 決

あすの安城市を築く青少年が、豊かな情操と正しい社会性を持ち、心身共にたくましく育つことは、市民すべての願いである。

この願いを実現するため、市民ひとりひとりが姿勢を正し、青少年をとりまく環境及び諸問題への関心と認識を深め、相互の連帯を強めることによって、青少年が情熱と自覚と責任を持って行動できるよう見守っていく必要がある。

ここに市民の総力を結集し、次代を担う青少年の健全育成をめざし、安城市を「青少年をすこやかにはぐくむ都市」とすることを宣言する。

市 章



(昭和35年に制定)

安城の「安」を图案化したもので、下部を末広がりにし発展を象徴、丸く囲んだのは円満・和を象徴しています。

市 の 木 (クロマツ)



〔市民投票
昭和47年に制定〕

かつての安城ヶ原は、小松の原野であり、現在の安城の緑の主体となっています。旧東海道の松並木は、400年の歴史を秘めて、市の文化財に指定されています。

市 の 花 (サルビア)



〔市民投票
昭和47年に制定〕

だれにでも作りやすく、家庭や学校の花壇に多く栽培され市民に親しまれています。夏から秋にかけて燃えるような赤い花をつけ、躍進著しい安城をしのばせます。

シンボルマーク



〔公募
平成4年に制定〕

安城の頭文字「A」を图案化したもので、青と緑の2色。未来に向かった大空と大地をイメージし、調和と力強い発展を表現しています。

は じ め に

安城市が進めております、第7次安城市総合計画「市民とともに育む環境首都・安城」は、本年度策定から5年目を迎え、折り返し点となります。教育文化の分野では、「個性と文化を育む環境づくり」を基本目標に、「生涯学習」「青少年、成人・高齢者」「学校教育」「文化」「スポーツ」の各分野を柱にして取り組んできました。それぞれにいくつかの基本成果指標が示されておりますが、その一つ一つをしっかりと検証して課題をはっきりさせ、後半の5年間の計画を再検討していきたいと考えております。

ただ、ここ数年堅実な伸びを見せていた安城市の財政も、平成20年9月のアメリカのリーマンショックに端を発した世界的な金融危機のあおりを受けました。このため、本市の平成21年度予算については、緊急的なマイナスシーリングとなり、各事業の見直しが実施されました。

しかし、このような中であっても、次代を担う子どもたちの教育環境整備は着実な歩みを進めております。子どもたちの安全に直接関わる事業では、昨年度配置が完了した小学校におけるスクールヘルパー事業に加えて、県が委託を終了したスクールガード事業を市の委託事業として継続し、子どもたちの安全確保を図っております。建造物の耐震工事については平成21年度に校舎が終了し、平成22年度には体育館を含め、すべての建物が完了する予定です。校地内の安全を確保するフェンスも、平成20年度から3カ年計画で整備を進めています。

I C Tなど情報教育の環境については、本年度、市内全小中学校において校内L A Nの整備が完了します。コンピュータ室のパソコンは、平成21年度までに小学校の更新が終わって1校41台が整備され、中学校では本年度すべての更新を予定しており、情報教育にとってより快適な環境が整います。

また、新学習指導要領の移行措置1年目に当たる本年度、先行的に取り組まれている外国語活動などのために全小学校に電子黒板を導入します。新しい教育領域への対応やI C T機器を活用した楽しい授業、わかる授業の具現化が図られると期待しています。

さらに本年度は、市独自で実施している少人数学級の充実を図るために、新たに条例を制定し、市で常勤講師を12名採用しました。これによって、これまで学級担任を兼務していた校務主任が学校環境整備に専念できるようになり、より一層安全で安心できる学校づくりが進められるようになりました。

このように私たちは、21世紀を担う子どもたちのために、今何をすべきか、何ができるのかを常に問い続け、時代の要請を踏まえながら、しかも時代に振り回されることなく、その歩を進めてまいります。そして、これまで安城教育が脈々と受け継ぎ、大事にしてきたものをとらえ直し、まさしく「地道ではあるが進取の精神に富んだ安城教育」を進めなければならないと考えております。

ここに、平成21年度版「安城市の教育」を刊行いたしました。この冊子を通して、安城の教育文化に対する一層の理解を深めていただくと同時に、積極的なご支援を賜りますようお願いいたします。

目 次

はじめに

I 安城市の概要	1	(2) 青少年教育	35
II 教育委員会	2	(3) 文化振興	41
1 教育委員会委員	2	(4) 市民憲章の推進	42
2 教育委員会の組織及び事務分掌	3	(5) 社会教育施設・団体	43
(1) 教育委員会の組織	3	2 公民館	45
(2) 事務分掌	4	(1) 公民館事業の目標	45
3 教育費予算額等の推移	6	(2) 公民館組織	45
(1) 教育費当初予算額の推移	6	(3) 公民館事業	46
(2) 教育費決算額の推移	7	(4) 公民館等施設	50
III 学校教育	8	(5) プラネタリウム	51
1 学校教育の推進	8	(6) 利用状況	52
(1) 教育実践の活動	8	3 安城市民会館	54
(2) 教育センターの活動	18	(1) 市民会館の概要	54
(3) 視聴覚センター	22	(2) 利用状況	54
2 児童生徒と教職員	23	4 図書館	55
(1) 幼・小・中学校児童生徒数	23	(1) 図書館事業の目標	55
(2) 教職員数	25	(2) 中央図書館施設概要	55
(3) 中学卒業者の状況	26	(3) 蔵書の冊数	56
(4) 児童生徒数推計	26	(4) 登録者・利用者の状況	56
3 心身の健全育成活動	26	(5) 図書館事業	57
(1) 学校教育関係体育行事	26	5 歴史博物館	59
(2) 学校保健	27	(1) 博物館目標	59
(3) 独立行政法人日本スポーツ振興センター	27	(2) 館蔵資料	59
(4) 生徒指導推進の組織	27	(3) 歴史博物館施設概要	60
4 野外教育活動	28	(4) 利用状況	61
5 就学・奨学制度	29	6 埋蔵文化財センター	62
(1) 奨学金制度	29	(1) 埋蔵文化財センターの概要	62
(2) 私立高等学校等授業料補助	29	(2) 利用状況	62
(3) 就学援助	29	7 市民ギャラリー	63
(4) 特殊教育就学奨励	30	(1) 市民ギャラリーの概要	63
(5) 幼稚園就園奨励	30	(2) 利用状況	64
6 学校施設の設置状況	31	8 丈山苑	65
7 学校給食	32	(1) 丈山苑の概要	65
(1) 学校給食の目標	32	(2) 利用状況	66
(2) 学校給食の組織	32	9 文化財保護事業	67
(3) 調理場施設及び調理数	33	(1) 文化財保護目標	67
(4) 給食実施計画	33	(2) 指定文化財	67
(5) 食に関する指導	33	10 新編安城市史	68
(6) 給食費の推移	34	(1) 市史編さんの目標	68
(7) 給食内容	34	(2) 市史編さん組織図	68
(8) アレルギー対策	34	(3) 刊行計画	68
IV 生涯学習	35	11 社会体育	69
1 生涯学習	35	(1) 社会体育の目標	69
(1) 生涯学習の目標	35	(2) マイスports活動の推進	69
		(3) 協議スポーツの振興	73
		(4) 指導者の養成と研修	74

(5) スポーツ団体の育成と相互理解	— 75
(6) スポーツ施設の効率的利用 と整備充実	— 76
(7) 計画の評価と推進体制の整備	—— 76
(8) 体育施設	----- 78
(9) 利用状況	----- 80

付 録

1 歴代の教育委員	----- 81
2 教育委員会の沿革	----- 83
3 教育関係施設・休館日一覧	----- 89
4 安城市施設管理協会	----- 91